



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
 【重点目標】自らよく考え、やり抜く生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

平成31年4月9日(火)
 第1号
 発行責任者
 校長 鈴木 太
 電話 22-3802

平成31年度 入学式 新たな始まり！



ごあいさつ

4月より原町第一中学校より赴任してまいりました校長の鈴木 太です。

平成15年4月から平成23年5月までの約8年間、本校に勤務しておりましたので、ご存知の方もいらっしゃるかと思います。思い出のたくさん詰まったこの学校で再び勤務できることをたいへんうれしく思っております。恩返しの気持ちで精一杯頑張りますので、どうぞよろしく願います。

4月8日の午後、新入生35名（男子18名、女子17名）を迎え、平成31年度入学式が挙行されました。新入生呼名では、全員が大きな声ではっきりした返事ができました。校長式辞の後、南相馬市教育委員会教育長 大和田博行様からあいさつをいただき、来賓としては同窓会会長 田中一正様、PTA会長 田能真一様から祝辞をいただきました。また、生徒会長の京谷七海さんの歓迎の言葉があり、新入生代表の荒拓人君から新入生代表誓いの言葉が述べられました。裏面に、校長式辞の抜粋を掲載いたします。

平成31年度(令和元年度) 重点目標 自らよく考え、やり抜く生徒

今年度は「自らよく考え、やり抜く生徒」を重点目標とし、生徒一人一人の「夢の実現」のために、自己課題や目標を明らかにし、自分でよく考え、判断して、実践することができる生徒を、全教育活動を通して育成していきます。また、地域資源を活用したり、体験活動を取り入れたりしながら南相馬ふるさと教育を推進し、生徒に郷土に対する誇りや愛情を持たせていきます。そのために、PDCAサイクルを機能させ、保護者の皆様や地域の方々の教育力を最大限に活用し、教職員が一致団結して教育活動を展開してまいります。

第1学期 始業式にて

始業式では、幕末に高杉晋作や伊藤博文らを育て、明治維新に大きな影響を及ぼした吉田松陰が残した言葉を生徒の皆さんに紹介しました。

夢を実現することは容易なことではありません。私はこれらの言葉の中で「実行」が最も大切だと思います。いくら高い理想や綿密な計画があっても、実行する勇気と強い意志、そしてそれを継続する根気強さがなければ、成功はあり得ないと思うからです。生徒の皆さんにはぜひ強い意志と根気強さで、自分の夢の実現のために行動してほしいと思います。教職員も一丸となって生徒の皆さんの頑張りを後押しします。

夢なき者に 理想なし
 理想なき者に 計画なし
 計画なき者に 実行なし
 実行なき者に 成功なし
 ゆえに夢なき者に成功なし

《入学式式辞抜粋》

35名の新入生の皆さん入学おめでとうございます。皆さんの入学を生徒・職員一同心より歓迎致します。

今日から皆さんは、この学舎でこれまでの伝統と校風を受け継ぎ、さらに発展させるため、上級生とともに力を合わせ努力することになります。

中学校は教科ごとに教える先生が替わります。また、生徒会活動や部活動などにおいても様々な活動がなされ、皆さんが、自分から課題を見つけ、その課題を解決するために向上心をもって行動することが求められます。



このように大きく変わる学校生活に一日も早く慣れ、充実した中学校生活を送るために、また、こんな中学生になってほしいという願いを込めて3つのこととお話しします。

1つ目は、進んで学習に取り組み、学び方も含めた基礎・基本をしっかりと身につけてほしいということです。このように変化の激しい社会にあっては、学校を卒業し社会人となっても、学び続けることが必要とされます。生涯にわたって学習するための大切な土台を、この時期を逃さずしっかりと築いてください。中学校の3年間で身につけた力は、生涯にわたって自分の人生を豊かに創造していく力になります。

2つ目は、心身を鍛えることです。皆さんは中学校の3年間に心も体も、大きく成長します。苦しいことや嫌なことから逃げず、スポーツやボランティア活動などに進んで取り組み、強い心と体をつくってください。ねばり強い精神力をはぐくむための絶好の機会だと受け止めて努力することを期待します。また、強い心と同時に、相手の心も分かる人になってください。自分の言葉や行動が、相手にどう受け止められるのか。相手の心にどう響くのかを考えながら、人との関わり方、協力の仕方、責任の果たし方などを学び、望ましい人間関係を築いてほしいと思います。

3つ目は、私の好きな言葉です。「成功の反対は失敗ではなく、チャレンジしないこと」小さなチャレンジからでいいのです。授業や部活動で、少し勇気を出してチャレンジすることを心がけてください。そして失敗を恐れなくてください。先日引退したイチロー選手は「4000本のヒットを打つには8000回の悔しい思いがあった」と言っています。何かに前向きに挑戦すれば失敗は必ずあります。空振り三振しても、下を見ないで悠然とベンチに戻っていくイチロー選手のように、より前へ進むため、より上へ伸びていくため、失敗を糧にできる人になってください。

生徒一人一人を大切に、学校で存在感が持てるように、教職員が一丸となって支援してまいります。どうぞ、本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。